

—— 安心の提供と震災からの早期復興のために ——

いわき地域復興センターは、「いわき明星大学と東日本国際大学」が連携して、いわき地域に対する震災復興活動を行う拠点として設立されました。「福島県いわき地域の大学連携による震災復興プロジェクト」をテーマとして、両大学が持ついわき地域の魅力の再生に直結する専門性を提供することで、震災からの早期復興を目指します。

- 【事業の4つの柱】
- I 放射線・放射能測定及び軽減に関する研究事業
 - II 震災記録の保存事業
 - III 被災地の情報発信による観光まちづくり事業
 - IV 被災障がい者自立支援促進事業

いわき明星大学 双葉郡楡葉町 連携協力協定締結のご報告

平成 25 年 11 月 8 日、東日本大震災および福島第一原発事故からの復旧・復興に向け、震災資料の収集・調査研究の分野で支援・協力するために連携協力協定を締結しました。

このたびの協定により、復興計画・復興実施計画・除染計画等の策定に関すること、避難住民への支援活動に関すること、町民および町職員対象とする調査などの分野で連携協力が行われます。いわき地域復興センターが取り組んでいる「震災記録の保存事業（震災アーカイブ事業）」は、その中心的な活動のひとつです。東日本大震災に関する映像資料等のご提供、社会調査実習の一環として同大学の学生による楡葉町役場職員への聞き取り調査など、連携して進めております。現在収集を進めている震災・復興に関する証言記録や写真等は、以下にご紹介する特設ウェブサイトや、パネル展等の催しにて発信していく予定です。



協力協定調印式で握手するいわき明星大学山崎学長（左）と楡葉町の松本幸英町長

■ 収集資料一例

孫から突然の電話「東電が大変だよ！」

証言記録

突然、11日の地震の後にいわきにいる孫から「おばあちゃん、大変なことなんだよ。すぐ避難して！」と電話がかかってきてね。それで、「何で？」と言ったら、「東電が大変だよ！」って、こう言うわけ。テレビでも原発事故のことは放送していたんですけども、そんなのは耳に入らなかったから、その時は知りませんでした。

じゃあ、とにかく逃げるだけ逃げようというわけで、お父さんと犬と孫と嫁と車2台でいわきの孫のところに避難したの。それでもその時はすぐに帰れると思ったのよ、状況が全くわかんないから。だから全く着の身着のまま逃げたの。

それで、お父さんはいわきの孫のところに行って、私はいわきの妹のうちで世話になってね。でも2回目の爆発が起こったときに、やっぱりいわきも大変だから、もしかしたらここからみんなも避難する可能性もなきにしもあらずだと思って、ひたちなかの妹のところに避難できるか私が電話をかけたの。そうしたら、犬とお父さん連れてうちにおいでって言ってくれてね。

そうして、行けるが行けないかわかんないけども、とにかく行くだけ行ってみようよと、犬連れて、お父さんを後ろに乗せて、「大丈夫、大丈夫」って言いながら、10年以上も高速道路を運転をしなかった私が、無我夢中で高速道路をひたちなかまで走っていたの。もう本当に夢になっていた。無事ひたちなかに着いた時には、よく来たねって妹に言われてね。きっと誰かが運転してくるんだと思ったんでしょう。だけど、私が頑張った。ちょうどその時は年齢が80歳だったからね。それで、それからずっとしばらくひたちなかで世話になりました。（2012年11月1日 N.W. 女性 楡葉町）

写真

2013年10月24日 楡葉町にて撮影



■ 発信方法一例

ウェブサイト

<トップページ一部抜粋>



URL: <http://hamadoori-kioku.revive-iwaki.net/>

パネル

収集した資料および調査結果等の掲示



■ 第17回ミニ相談会 開催報告 ■

いわき地域復興センターでは、10月25日に「写真で見る旧警戒区域の様子～原子力災害からの復興と課題を考える～」をテーマとして、第17回ミニ相談会を開催致しました。

当センターでは、「震災記録の保存事業」の取り組みのひとつとして、浜通り地区における地震及び津波被害や復興への記録を収集・保存する活動を行っております。今回は、福島県浜通り地区の震災以降の様子・変遷などについて、写真を交えながら講師の先生にお話しいただきました。



<講師：高木 竜輔准教授>

✿ 今後のミニ相談会のお知らせ ✿

第18回

日時：11月22日（金）10：30～ 定員：10名

テーマ：植物を使った除染の可能性

～身近な場所の除染について考えよう～

講師：いわき明星大学 科学技術学部 佐々木秀明准教授

場所：いわき地域復興センター

第19回

日時：12月21日（土）10：30～ 定員：20名

テーマ：身近な場所の除染について知ろう！

～除染の方法をその効果について～

講師：除染情報プラザ派遣専門家 須田博文氏（株式会社イング）

場所：いわき明星大学 教員談話室（本館1階）

ミニ相談会は、放射能問題や復興に向けたさまざまなテーマで毎月1回開催しております。参加費は無料です。是非お気軽に、ご参加・お問い合わせください。【お問い合わせ】いわき地域復興センター ☎0246-38-7132

■ 第2回 いわき地域復興センターフォーラムのお知らせ ■

このたび第2回いわき地域復興センターフォーラムを開催することとなりました。「震災後の情報流通の在り方、多様なメディア実践の可能性」をテーマに、今後のいわき地域の復興に向けた方向性や道筋を探ることを目指します。是非皆さままでご参加ください。

【日時】平成25年11月30日（土）13：30～16：00

【場所】東日本国際大学 1号館201教室

【定員】200名 【参加費】無料

【内容】

①基調講演 演題：「メディアの森の育て方」

講師：水越 伸氏（東京大学大学院情報学環・学際情報学府教授）

②パネルディスカッション テーマ：「被災地からの情報発信の現状と課題」

【申込・お問い合わせ先】東日本国際大学 TEL：0246-35-0001 FAX：0246-25-9188

学生によるインターネット情報サイトのプレゼンテーションを13：00から行います。関心をお持ちの方は、お早めにお越しください。



<第1回フォーラムの様子>

■ 放射能検査施設見学バスツアーを開催します！ ■

このたび、いわき地域復興センターでは、流通している食品を中心とした放射能検査のようすや福島県の取り組みを、皆さまに知っていただくことを目的としたバスツアーを企画いたしました。食品に対する不安や疑問に思っていることがありましたら、お気軽にご参加・お問い合わせください。

放射能検査施設見学バスツアー



【日時】平成25年12月4日（水）9：30～17：30

【定員】30名 【参加費】無料（昼食代のみ参加者負担）

【見学先】

いわき明星大学環境放射線測定室

いわき市農業協同組合カントリーエレベーター

福島県農業総合センター

申込・お問い合わせは、いわき地域復興センターまで！

☎0246-38-7132

文部科学省
平成23年度大学等における
地域復興のためのセンター的機能整備事業

いわき地域復興センター

〒970-8034 福島県いわき市平上荒川字長尾74-8

Tel.0246-38-7132 Fax.0246-38-7134

URL <http://www.revive-iwaki.net/>

